

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会 第7回会議 会議概要

日 時 令和5年8月29日(火) 14時30分～16時15分
場 所 滋賀県庁東館7階大会議室
出席委員 会 場：若松委員、馬淵委員、寺田委員、明吉委員、樋口委員、北村委員、東谷委員、
加藤委員、犬井委員、浦島委員、福井委員、山添委員
リモート：井手委員、原委員、松浦委員、北川委員 (出席16名)
欠席委員 小南委員、炭谷委員 (欠席2名)
県出席者 福永教育長、村井教育次長、嬉野教育次長、横井高校教育課長、
小嶋魅力ある高校づくり推進室長、青木保健体育課長、南野競技力向上対策室長
白井参事、杉原参事、富永主幹、池上私学・県立大学振興課副主幹、他関係職員
傍聴者等 傍聴：2名 報道：2社(京都新聞、中日新聞)

1 開 会

(1) 新委員の自己紹介

山添委員より自己紹介をいただいた。

(2) 滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会第6回会議の概要について

事務局より説明があり、原案のとおり承認された。

2 協 議

(1) 第6回会議の質問に対する回答について

- ・他県における、学力検査以外の検査における出願倍率について、事務局から説明が行われた。
- ・中学校長推薦と自己推薦を併用している他県における、出願に係る要件の違い、ならびに自己推薦における出願内容の確認等について、事務局から説明が行われた。

(2) 中間報告後の意見聴取結果について

中間報告後に実施された意見聴取結果から、二次選抜の在り方と、帰国生徒・外国人児童生徒に対する特別の選択枠を導入することについての結果を事務局から報告し、意見交換が行われた。

○主な意見は次のとおり。

- (ア) 帰国生徒・外国人児童生徒に対する配慮は、教育課程の整備とセットで考える必要があると思うが、本協議会からの提言という形が良いのではないか。(市町教育委員会関係者)

(3) 選抜日程について

事務局から、広島県の日程変更(選抜の一本化)の事例紹介と、それを参考にして、仮の日程として令和8年度入学者選抜における本県選抜を一本化した場合のシミュレーションの説明が行われ、意見交換が行われた。

○主な意見は次のとおり。

- (ア) 日程があまり早まると、中学校で、教育課程で定められた授業時数を実施できるのかという不安はある。そういう実情を含めて今後日程を検討してほしい。(市町教育委員会関係者)
- (イ) 2月に学力検査が実施されるとなると、中学校でも早期に計画していくことが必要で、日程的には今よりは厳しくなり少し余裕が無くなる感じた。(中学校関係者)

- (ウ) 高校としては、全体の期間が縮まるのはありがたい。今までは、入試の時期は業務負担も大きく、行事なども入れにくかったが、少しでも日程が上がると、今まで以上に落ち着いて、全体の動きを考えることができるようになる。(高校関係者)
- (エ) 一本化した場合、時間的なゆとりが出来るのは非常に良いが、業務量等の負担は増える可能性もあるため、実施する検査等の吟味が重要だと考える。(高校関係者)
- (オ) 中学校としては、採点補助システムなどの活用によって、少しでも検査の日程を下げるということが可能になるのであれば、検討していただくとありがたい。(中学校関係者)
- (カ) 中学校の授業時数については、選抜が一本化されると、今まで授業ができなかった部分で確保ができるなどの可能性もあると思っているが、2月中に検査が終わるということについては、それ以外のことで心配はあり、3月に入ってからありがたい。(中学校関係者)
- (キ) 提案された日程は、よく練られていると思う。その上で、一次募集の出願期間や出願変更期間は、十分な時間をとった方が、中学生にとって望ましいと感じる。(学識経験者)
- (ク) CBT(コンピュータベースドテスト)を導入していくことなども、先生方の採点業務等の負担を減らすことにつながるのではないかと考える。(学識経験者)
- (ケ) CBTの場合は、脆弱性も考えられるため、入試において実施するということを考えた場合の不安は残る。何らか、紙で記録が残るシステムの方が、不慮の事態に対して強いのではないかと思う。(学識経験者)
- (コ) コロナ前後で、生徒の受検への向き合い方が変わったとも言われており、受検回数一本化は、学校間格差を広げることにつながらないか。他府県の動向などを調べて教えていただくとありがたい。(私立学校関係者)

(3) 今後の予定について

次の2点が確認された。

- ①第8回会議で最終報告(案)について協議を行うこと。
- ②令和5年12月を目処に、最終報告を行うこと。

(4) その他

特になし。

3 閉会

- ・閉会にあたり、福永教育長から挨拶があった。
- ・次回、第8回協議会の日程については、令和5年10月末頃に開催する方向で調整し、委員には改めて連絡することとした。